

# 平成30年度 トップアスリートAO入試I期 小論文 問題用紙【体育学部・スポーツ文化学部】

問題（試験時間:60分）

「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議」報告書（平成25年7月）の提言を踏まえ、スポーツの価値や持続可能性、健全性の維持・向上のための課題認識を共有し、コーチングの改善・充実のための連携した取り組みを推進するため、国、独立行政法人、スポーツ団体、大学その他のコーチングに関わる主体が一堂に会するコンソーシアムが設置された。

以下に示すのは、そのコンソーシアム（コーチング推進コンソーシアム）がとりまとめた、コーチングを正しい方向へと導くための、「グッドコーチに向けた『7つの提言』」である。これをもとに問いに答えなさい。

## グッドコーチに向けた「7つの提言」

1. 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。
2. 自らの「人間力」を高めましょう。
3. 常に学び続けましょう。
4. プレーヤーのことを最優先に考えましょう。
5. 自立したプレーヤーを育てましょう。
6. 社会に開かれたコーチングに努めましょう。
7. コーチの社会的信頼を高めましょう。

問1. こうした提言がとりまとめられた背景について、詳しく説明しなさい。

問2. それぞれの提言内容について、あなたの考えを具体的に説明しなさい。

（文字数指定なし）